

令和6年度 学校教育努力点推進計画

1 研究主題

考えを伝える・比べる・深める中村っ子

～タブレットを活用した「協働的な学び」を通して～

2 研究主題設定の理由

昨年度、本校では、教師や児童がタブレットP Cを使用する機会を増やし、教師も児童もタブレットを使用することに慣れ、手書き、フリック、キーボードなど入力に関する基本的な技術の習熟を図り、伝える方法を学んだ。また、タブレットを活用して、自分の考えを伝えるための授業実践を進めてきた。その結果、昨年度の実態調査では、タブレットを使うと、自分の考えをみんなに「伝えやすい」と実感することができた児童が多くいた。このことから、自分の考えを伝える手段としてタブレットが有効であったと考えられる。タブレットを使ってできることも、実践を通して増えており、今年度もタブレットを自分の考えをみんなに伝えるためのツールとして利用していくとよいと考えられる。しかし、昨年度の自分の考えを伝えることが「あまりできない」「できない」と感じている児童には変化が見られなかった。タブレットの操作の能力に差ができてしまったり、時間が足りなくなり入力できなかったりしたことが原因の一つであると考えられる。また、タブレットを使うことが目的になってしまったり、ただの意見の見せ合いになってしまったりした。そこで、タブレットの回答共有機能や共有ノートを活用して、児童が友達の考えを知り、友達の様々な考えと比べながら、共通点、相違点を明確にしながら、話し合い、自分の考えを広げ、深めていく活動を進めていくようにする。

